

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 31 日

アンケート期間:令和 6 年 2 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 S.I.C.KIDS清須校

保護者等数(児童数) 28 回収数 26 割合 93 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	3	1		活動スペースは広く、安全に配慮された空間だと思う。	広めにスペースを確保している為、伸び伸びと体を動かせるようになっております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1			マンツーマン指導は手厚く、ありがたい。	職員は基準に沿って配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	2			トレーニング内容を掲示しており、わかりやすいやり方で工夫されている。	今後も利用者様が使いやすい空間作りをしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25		1		清潔で楽しそうな空間である。消毒などをどこまで行っているか保護者には見えない。	今後も利用者様が過ごしやすい空間作りをしていきます。清掃や消毒の様子をインスタグラムやおたよりなどで紹介していきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26				子どもの困りごとなどを取り入れたうえで、支援内容について提案してもらえるのでありがたい。	職員間で情報を共有し、個別支援計画を作成しております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24		2		困りごとを話すと、具体的な支援の提案や対応をしてもらい、助かっている。	一人ひとりの利用者様に合った計画を具体的に示しております。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26					個別支援計画に基づきプログラムを組んでおります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24	1		1	毎回内容を変えて、楽しいトレーニングを提供してもらい、子どもも楽しんでいる。	今後も担当の職員を変えながら固定化されないようにしております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	18	交流希望。	イベントを開催し、交流できる機会を作っています。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25			1	申し込みの時に、丁寧に説明してもらった。	契約時に保護者様にしっかりと伝わるように説明しております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25			1	適切な支援計画を子どもに合わせて作成したうえで、支援内容について説明してもらった。	ガイドラインを基に支援計画を作成し、保護者様に説明しております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	3	3	7		保護者様が学べる機会を設けていきたいと思います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26				毎回、トレーニング後のフィードバックを丁寧にしてもらったり、相談にも乗ってもらったりしている。活動の様子など、いつも分かりやすく伝えてもらっている。	今後もお子様の状況を伝え合い、共通理解を図っていきます。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	2			面談の際に、困っている事や不安な事などを1対1で話すことが出来たり、アドバイスもあつたりするのでありがたい。育児に関する相談をするタイミングが分からない。	年2回の面談時に助言等をしております。また、面談時以外でも相談していただける機会を設けていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	2	15	保護者同士の連携が取れるといいと思う。	保護者の方同士で交流ができる機会を設けていきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	2		2	LINEでも電話でも迅速に対応してもらっている。	今後も要望等があった際は、迅速に対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2			相談がある時は、個室で聞いてもらっている。LINEでやり取りができるので助かる。	保護者様と円滑に意思疎通が出来るように対応していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23			3	毎月のおたよりも、インスタも楽しく見ている。LINEの連絡も分かりやすい。	今後も、Instagramや公式LINE、ホームページなどを活用し、発信していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	24			2		Instagramに写真を掲載する場合は顔を隠しております。また、都度保護者の方に掲載する写真を確認していただいています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	2		12		マニュアルを掲示しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2		16	避難訓練をしましたという報告は受けたことがない。	年2回、避難訓練を行っております。おたよりやInstagramでお知らせしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25			1	体を動かすことが好きなので、毎週楽しく通っている。S.I.C.KIDSに行くことを伝え、いつも嬉しそうにしている。	今後もお子様を楽しんでいると思っていただけるような支援を心がけていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	26				保育園の体操教室で、療育が役立っていると感じる。子どもの苦手なことを伝え、すぐにトレーニングしてもらい、感謝している。通うようになってから、成長したこともとても多い。マンツーマンで行ってくれるので満足している。	現在の支援に満足せず、より良い支援を目指していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 31 日

アンケート期間:令和 6 年 2 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 S.I.C.KIDS清須校

保護者等数(児童数) 51 回収数 32 割合 63 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	3			のびのびと活動出来ている。 活動の内容によっては狭さを感じる時もある。	広めにスペースを確保して、 伸び伸びと体を動かせるよう なっております。 プログラムを工夫しながら広々と 活動できるようにしていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	32					現状に満足せず、知識を増やし ながら支援していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	3	2	7	トイレの段差。 トイレが狭いと思うが、スペースの関係で仕方ないと思う。	必要に応じ職員の補助にて対応 しております。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	32					利用者様のニーズを汲み取り、 職員間で情報を共有し、個別支 援計画を作成しております。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	31			1		担当の職員を変えながら固定化 されないようにしております。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	5	8	13	イベントはあるが、交流という より一緒に楽しむ感じ。 季節に合わせた祭りなど、地 域の子ども達と少し交流でき ていると思う。 障がいのない子や児童館との 交流はない。	ご要望に応じて対応を考慮して いきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32					契約時に保護者様にしっかりと 伝わるように説明しております。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32				トレーニングの成果を教えても らえるので、日常の成長や課 題に繋げやすい。 児童発達支援管理責任者が不 在の際、他のコーチに伝えたこ とがきちんと児童発達支援管 理責任者に伝わっているの でとても助かっている。	今後もお子様の状況を伝え合 い、共通理解を図っていきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	1	2		面談時だけでなく、トレーニ ングの報告の時や、トレーニ ングの待ち時間に学校の様子な どを聞いてもらえると相談しや すい。	年2回の面談時に助言等をして おります。また、トレーニング終 了後に出来る範囲で日頃の様子 をお聞きしていきたいと思いま す。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	2	3	13	色々なセミナーやイベントも 案内してもらえるため、予定 が空いていたら参加したい。	今後もイベント等を企画して いきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18			14	そのような場面がなかった。	今後も要望等があった際は、 迅速に対応していきます。
	12	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32					保護者様と円滑に意思疎通が 出来るように対応していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	30			2		今後も、インスタグラムや公 式LINE、おたよりなどを活用 し、発信していきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	26			6		鍵付き保管庫にて管理して おります。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	2		9	十分に注意されていると思うが、周知、説明までは分からない。	マニュアルを掲示しています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			18	訓練等を行っていると思うが、周知や説明までは分からない。	年2回、避難訓練を行っております。おたよりやInstagramでお知らせしています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	31	1				今後もお子様を楽しんでいると思っていただけるような支援を心がけていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	32				体を動かすことが嫌いではなく、少しずつ出来ることが増えた。	現在の支援に満足せず、より良い支援を目指していきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6 年 3 月 11 日

公表: 令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 S.I.C.KIDS清須校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		教具の配置を工夫しスペースを確保している。	限られた空間の中で工夫してスペースを確保していく。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準に沿った職員を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者様が分かりやすいよう掲示物を工夫している。	段差があるスペースもある為、安全に配慮しながら対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			掃除や消毒を徹底し、清潔を保っていく。また、室内だけではなく、駐車場スペースの清掃にも気を配っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日振り返りを行っている。	振り返りを行い、業務改善を行っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回のアンケートを基に業務改善に努めていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年1回ホームページに公開している。	引き続き年に1回公開していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修を開催し、職員の資質の向上を行っている。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面談にて保護者のニーズをお聞きし、支援計画を作成している。	引き続き、アセスメントを適切に行い、職員間で話し合いながら支援計画の作成をしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			現在のアセスメントを使用しながら利用者様の状況を把握していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様の様子や利用者様の様子を話し合い、支援計画を作成している。	ガイドラインを再度確認し、より具体的な内容で支援計画を作成していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を定期的に確認しながら支援を行っている。	引き続き、支援計画に沿った支援を行っていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			引き続き、職員間で話し合いながら、一人一人に合ったプログラムを作成していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々の記録ノートを確認しながらプログラムを作成している。	引き続き、プログラムが固定化されないように職員間で話し合いながら工夫していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		保育園などの集団生活で対応できるような目標を設定し、それに沿ったプログラムを行っている。	引き続き、集団生活でも対応できるような目標を取り入れていく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を行い、内容や連絡事項を確認している。	引き続き、行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を行い、その日の振り返りや連絡事項を確認している。	引き続き、行っていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録を作成している。また、職員間で改善点などを話し合っている。	引き続き、記録を作成し、改善に繋げていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に見直しを行っている。	引き続き、定期的に見直しを行っていく。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画している。	引き続き、参画していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		担当者会議や児童部会等で話す機会がある。	引き続き、話す機会がある際は、連携して取り組んでいく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		機会があれば、積極的に情報共有をしていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		機会があれば、積極的に情報共有をしていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関の研修があった際は、積極的に参加している。	今後も研修等に積極的に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		イベントに地域の方も招待している。	引き続き、イベントなどで地域の方を招待し、交流に繋げていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		児童部会に参加している。	引き続き、積極的に参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回、支援後に保護者様と話す機会を設けている。また、年2回面談を行っている。	引き続き、話す機会を設け、共通理解を持つていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		自宅で出来るトレーニング等を伝えている。お子様との関わり方など講演会などを企画している。	引き続き、保護者様の思いを汲み取りながら、保護者様への支援も行っていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			引き続き、分かりやすく丁寧に説明していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を提示し、詳しく説明を行っている。	引き続き、一人一人に合った支援計画を作成し、丁寧に説明していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に面談を行い、助言をしている。	保護者様の様子を汲み取りながら、相談に応じたり適切なアドバイスをしたりしていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		イベントなどで交流できる機会を設けている。	引き続きイベントを企画し、保護者様同士の連携が取れるようにしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れがあった際は、迅速に対応している。	引き続き、申し入れがあった際は、迅速に対応していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Instagramや公式LINEなどで発信している。	引き続き、定期的にInstagramや公式LINEなどで発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫を活用している。またInstagramに写真を掲載する際は、顔を隠していると共に、掲載する写真を保護者に確認していただいている。	引き続き十分に注意していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			引き続き、配慮しながら情報を伝達していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		クリスマス会や夏祭りなどのイベントに地域の方も招待している。	引き続き、イベントを通して地域の方を招待していく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアルを掲示し、保護者様に周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回避難訓練を行っている。	引き続き、避難訓練を行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面談にて都度確認をしている。	引き続き、面談にて都度確認をしていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事の提供がない為、該当無し。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録を作成し、職員間で共有し合っている。	引き続き、共有していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修の機会を設けている。	引き続き、研修を設けていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在は該当者無し。	今後、該当者が出た場合は職員間で話し合い、対応していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 3 月 11 日

公表:令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 S.I.C.KIDS清須校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		教具の配置を工夫しスペースを確保している。	限られた空間の中で工夫してスペースを確保していく。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準に沿った職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		利用者様が分かりやすいよう掲示物を工夫している。	段差があるスペースもある為、安全に配慮しながら対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日振り返りを行っている。	振り返りを行い、業務改善を行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回のアンケートを基に業務改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年1回ホームページに公開している。	引き続き年に1回公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修を開催し、職員の資質の向上を行っている。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		面談にて保護者のニーズをお聞きし、支援計画を作成している。	引き続き、アセスメントを適切に行い、職員間で話し合いながら支援計画の作成をしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			現在のアセスメントを使用しながら利用者様の状況を把握していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			引き続き、職員間で話し合いながら、一人一人に合ったプログラムを作成していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々の記録ノートを確認しながらプログラムを作成している。	引き続き、プログラムが固定化されないよう職員間で話し合いながら工夫していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	休みに関係なく毎回プログラムを変更している。	スモールステップで毎回課題を考え、実践していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		学校などの集団生活で対応できるような目標を設定し、それに沿ったプログラムを行っている。	引き続き、集団生活でも対応できるような目標を取り入れていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を行い、内容や連絡事項を確認している。	引き続き、行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を行い、その日の振り返りや連絡事項を確認している。	引き続き、行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録を作成している。また、職員間で改善点などを話し合っている。	引き続き、記録を作成し、改善に繋げていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に見直しを行っている。	引き続き、定期的に見直しを行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		保護者様の様子や利用者様の様子を話し合い、支援計画を作成している。	ガイドラインを再度確認し、より具体的な内容で支援計画を作成していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画している。	引き続き、参画していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		送迎を行っていない為、連絡調整はしていないが、必要があれば連携を取っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/	/
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		機会があれば、積極的に情報共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		移行する利用者がいない為、現在は行えていないが、必要があるときは、積極的に連携を取っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関の研修があった際は、積極的に参加している。	今後も研修等に積極的に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		イベントに地域の小学生なども招待している。	引き続き、イベントなどで地域の方を招待し、交流に繋げていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		児童部会に参加している。	引き続き、積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回、支援後に保護者様と話す機会を設けている。また、年2回面談を行っている。	引き続き、話す機会を設け、共通理解を持つていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		自宅で出来るトレーニング等を伝えている。お子様との関わり方など講演会などを企画している。	引き続き、保護者様の思いを汲み取りながら、保護者様への支援も行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			引き続き、分かりやすく丁寧に説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に面談を行い、助言をしている。	保護者様の様子を汲み取りながら、相談に応じたり適切なアドバイスをしたりしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		イベントなどで交流できる機会を設けている。	引き続きイベントを企画し、保護者様同士の連携が取れるようにしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れがあった際は、迅速に対応している。	引き続き、申し入れがあった際は、迅速に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Instagramや公式LINEなどで発信している。	引き続き、定期的にInstagramや公式LINEなどで発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫を活用している。またInstagramに写真を掲載する際は、顔を隠していると共に、掲載する写真を保護者に確認していただいている。	引き続き十分に注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			引き続き、配慮しながら情報を伝達していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		クリスマス会や夏祭りなどのイベントに地域の方も招待している。	引き続き、イベントを通して地域の方を招待していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルを掲示し、保護者様に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回避難訓練を行っている。	引き続き、避難訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修の機会を設けている。	引き続き、研修を設けていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在は該当者無し。	今後、該当者が出た場合は職員間で話し合い、対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事の提供がない為、該当無し。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録を作成し、職員間で共有し合っている。	引き続き、共有していく。